

閉 会 の 挨拶

高知女子大学看護学会運営委員長

山 崎 智 子

第8回の看護学会を無事終了することができました。過去、8年間のことを振り返ってみますと、今年は特に気分的に楽といえますか、気持ちよくこの会を迎え終えることができました。

このことは、学会長はじめ運営委員の皆様そして、会員の皆様方の積極的な御協力があったことと、心から感謝いたしております。今回は87名の会員の方がいらしていただいたそうで、準会員24名を加えて100名を超えました。例年から推測し、資料も60～70名分しか準備しなかったこと、その他不行届きの点が多々あったことと思いますが、お許し下さい。

来年、再来年と更に多くの方々の御出席を期待して、終りのご挨拶とさせていただきます。

それから蛇足ですが、今年は30周年記念行事ということで色々なことを企画し、実際に行ってきております。事業の開催時にはお知らせいたしますので積極的な参加、ご協力をお願いいたします。

それからもう一つ、これは日本の看護界の中で、日本看護科学学会というのが、昨年7月に発会しました。昨年12月に学会の第1回が開催されました。うちの卒業生の入会が意外に少ないというので、私ども、少々肩身の狭い思いをしております。会則などを見るとちょっと足をふみ入れ難いというふうな受け取り方もあるようですが、そのようなことはございませんので、評議員2名の紹介を得てということでございます。女子大の中でも2名評議員が出ております。学会にぜひ入会し、その場での発表も期待したいと思っております。

どうも、ありがとうございました。